

## 好きなことなら学習できる！

私が、中学校の知的障がいの特別支援学級を担当していた時に、次のような生徒がいました。

基本的な生活習慣は身に付いていますが、かけ算九九は全部できませんでした。その生徒は、できるようになるように、かけ算九九を毎日練習しました。学校では、言えるようになるのですが、次の日にもう一度聞くと、間違えてしまいます。そこで、私は、毎日お風呂に入った時に、かけ算九九を全部言えたら、お風呂を出るようにしたらと提案しました。

それから 3 日後に、用事があって夕方暗くなってから家庭訪問をしました。そしたら、その生徒はお風呂に入っていました。玄関に近づくと、お風呂の中でかけ算九九を練習している声が聞こえてきました。「ろくいちがろく、ろくにじゅうに、ろくさんじゅうはち、ろくしにじゅうし、ろくごさんじゅう、ろくろくさんじゅうろく、ろくしち、えーと、えーと、分からなくなっちゃた。(間違えたので最初から)にいちがに、ににんがし、にさんがろく・・・」と、本当にお風呂でかけ算九九を練習していました。でも、なかなかかけ算九九を覚えることはできませんでした。このことでも分かるように、まじめで、素直なとても穏やかな性格の生徒でした。

中学校 3 年生の時でした。二泊三日で長野県の飯田市へ修学旅行に行った時のことでした。夕ご飯を食べて、いろいろと雑談していると、その生徒が好きなバカ殿様の話になりました。その生徒は、この前テレビを見ていたら、バカ殿様がとても面白かったと話していました。どんなところが面白かったと聞くと、テレビでやっていた台詞をずっと一人で話し始めたのです。いくつかのコントを、30分以上にわたって一人で話し続けたのです。聞いていた私たちは、みんな大笑いでした。こんなに長く、全てのセリフを覚えているので、どうやって覚えたのか、個人懇談の時にお母さんに尋ねてみると、ビデオに録画して、テープが擦り切れるくらい(何年か前は、後で見たい番組は、ビデオテープに録画していました。)何度も見ているから覚えているのではないかと教えていただきました。

かけ算九九は、繰り返し練習しても忘れていってしまいましたが、好きな番組のセリフは、覚えることができたのです。私は、教師として、かけ算九九が便利でよく使うもので、自分から覚えたいという気持ちにさせてあげられなかったんだなと感じました。やる気スイッチは、自分自身で押さないといけないと改めて思いました。